

過本庁舎健康増進課☎②2112

■原発事故による母子避難者等に 対する高速道路の無料措置

健康不安から、地元と避難先で二重生活 をしている家族の交通費負担を軽減するため、 高速道路料金の無料化が行われています。

●対象者(次のすべての要件を満たす方) ①平成23年3月11日に本市に居住していた方 ②現在も世帯を分離して、二重の生活をして いる方

③避難している子どもが満18歳以下である方

- ●対象車種
- 中型車以下
- ●対象区間

母子等避難先の最寄りにから、父親等の 居住地の最寄りICの区間(それ以外の区間 や対象区間内での途中乗降の場合は無料化 されません)

●期間

平成26年3月31日 月まで

<申請受付>

市役所本庁舎1階正面玄関ロビーで、随 時受け付けています。

問本庁舎地域支援課☎221111 内2255

2質(セシウムー2内部被ばく検査は の検 取查 りの 組概 微要と今年 は、

合病院 県

て、

ルボデ

力

ウン

検 30 予

具を行っていきまた、 感から39歳までの方の順

定です。

で全身検査

一を行

FASTSCAN

放射性

な を浴びることはありません。 の検査で、機器等から放射査時間は合計で5分程度)。 に自宅に郵送されます。 (予定)》 《今年度の検査の お、 検査結果は約1 機器等から放射線 取

度

検査を行いました。今後は、歳までの希望者を対象とした4月に、市内の19歳から29 り組み か月後

「放射線なんでも相談会」で専門家のアドバイスを!

放射線の専門家のアドバイスが受けられる「放射線なんでも相 談会」を開催します。放射能に関するあれこれ、気になることを 解決する良い機会ですので、ぜひご参加ください。

時 6月1日出/午後1時~3時

から寄贈されるホ

カウンター

が、

感到達児、妊婦、 い、白河厚生総 が、白河原生総

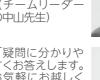
- 場 会 中央保健センター(北中川原)
- 徳島大学白河市支援放射線アドバイザーが、個別相 ●内 容 談に応じます。相談は無料です。
- 本庁舎健康増進課☎②2112

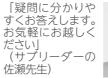
※開催日の3日前までに、電話でお申し込みください。

<徳島大学白河市支援放射線アドバイザー>

氏名	専門分野
中山信太郎	放射線計測
佐瀬草也	放射線防護
誉田栄-	歯科放射線
阪"間 稔	放射線計測
佐藤 一雄	診療放射線
南南 耕市	社会科学
西澤邦秀	甲状腺専門
坂白曲貴子	放射線計測

「放射線計測技術 を活用した支援を していきます」 の中山先生)









本市で(24年3月から開始され 24年3月から開始され 平成25年3月までに、8、 平成25年3月までに、8、 でを対象)が受診して でを対象)が受診して そ8 の 8)結果は

6 が 実 今月号では、

お知らせします。

本市での検査の実施状況と、

放射性物質の内部被ばく検査

情を正

を目的として、平成23年6月から県内で行われています。内部被ばくの実態を把握するとともに、今後の健康管理部被ばく検査。この検査は、皆さんの放射性物質による県が行っているホールボディカウンターを使用した内

用語集

こい

※1 ホールボディカウンター

(※2) は、E

「 1 1 1 年 の

人の体内に取り込まれた放射性物質の量を測定する装置のこ と。全身を対象に、人体から放出される放射線の量や種類を体 外から直接計測する。呼び方は、全身カウンター、全身測定装置、 ヒューマンカウンター、WBCなどがある。

※2 預託実効線量

成人では50年間、子どもでは70歳までに体内から受けると思 われる内部被ばく量のこと。毎日均等な量を継続して日常的に経 □摂取したと仮定した最大線量を推定している。